

総選挙、2013参院選へ新春のつどい 三重

三重県の党後援会総会と新春のつどいが15日開かれ、井上さとし参院議員が記念講演。小選挙区三重1区

の岡野恵美、同5区の内藤弘一両候補も決意表明しました。

また、県下の活動を交流し、選挙での躍進の決意を固めました。



つどいで報告された亀山市後援会の活動を紹介します。

亀山市後援会は、内し、地域の要求を聞き入ります。②案内

2〜3ヶ月に1回のペースで発行し、会員の約700軒に配布しています。ニュースの財源はぶどう100箱、みかん150箱の売り上げです。また、子どもを対象にした「川遊び」行事を行い、「自然を愛する会」の人に魚の取り方を教えてもらい、ゲームを楽しんでいます。子どもの親が30代、40代なので、若い世代とのつながりもできると好評です。

ビラを全戸配布、開催地域の後援会員・支持者に電話で呼びかけます。当日宣伝カーで呼びかけると「声が聞こえたのできました」という人もいます。③議員の市政報告は15〜20分、あとは参加者にどれだけ話しかけられたいか話してもらえるか、その場の雰囲気作りを工夫しています。④必ずしんぶん赤旗日曜版と日刊紙の宣伝紙を全員に渡して購読をお願いします。⑤つどいで出された要求や問題点を後日、調査して返事をし、信頼関係を深め、つどいの感想を聞きながら赤旗購読を訴えています。

佐々木議員を迎えた演説会に満員の160人 (弥富市)



免「災害に強い町づくり」などを訴えました。参加者からは「共産党の役割がよくわかった」などの感想が出されました。

14日、愛知県弥富市の日本共産党演説会で佐々木憲昭衆院議員が演説しました。

演説会には160人が参加し、イスが足りなくなると、隣の市役所からイスを持ち込みましたが、それでも立ち見が出るほどで、「史上最高規模」の演説会になりました。

同市では2月12日投票で市議会議員選挙がおこなわれ、党は現職の三宮十五郎、新人のなす英二両候補が立候補します。三宮、なす両候補は「介護保険料の減



国会議員団の役割講義

愛知・地方議員会議で河江候補

18日、愛知県の地方議員会議で、河江明美衆院比例候補は、「総選挙の争点と日本共産党国会議員団の役割と実績」について講演しました。

この間の赤旗記事やグラフを使って、社会保障と税金、消費税増税や原発事故、TPP問題などについて党国会議員団の役割を語りました。

参加した地方議員から「わかりやすい。小集会にも来てほしい」「図も多く、ビラにして配りたい」「決意のあふれる講義だった」などの感想がありました。会議の中で行ったシンポジウムではベテラン、新人議員5人が「日本共産党議員の誇りと喜び」について語りました。

名古屋市西区の鷺野市議は、支部の党員と一緒に

すべての学区で放射線量測定をおこない、結果をホームページで紹介し、ビラで住民に知らせると発言しました。

県内で初めて住宅リフォーム制度を提案し、実現させた蒲郡市の日恵野議員は、「議員たより」の「蒲郡甘いものめぐり」というまちのおいしいものを紹介するコーナーが好評で「(住宅リフォームに続く)市の景気対策第二弾にしよう」と話していました。

党議員のいなかった大治町で議席を得た吉原議員は、なれあいの議会にあらしい風をおくりこみ、議会にも緊張感がうまれていると発言し、新鮮な活動が紹介されました。